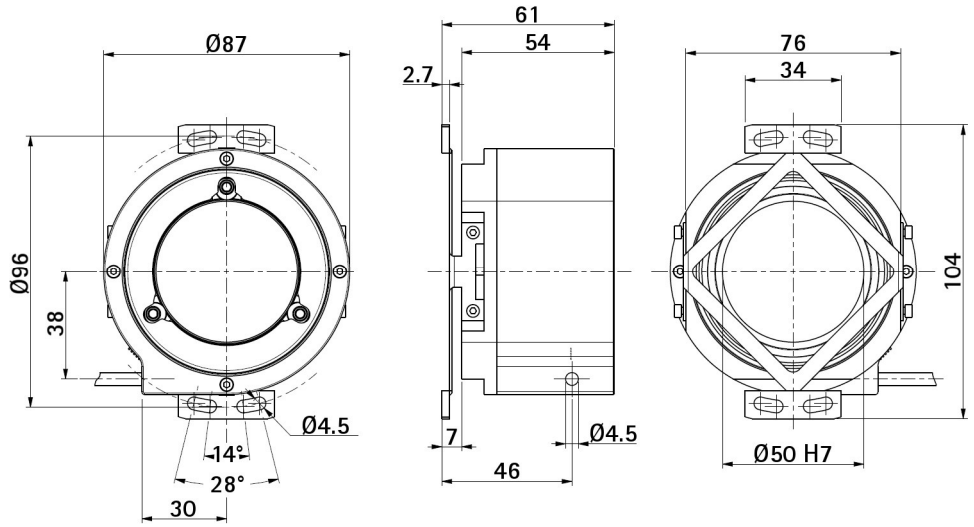
3 - 取り付け要領書

警告
設置は、電源を切断し、機械部品を強制的に停止した状態で、資格のある担当者のみにて実施してください。

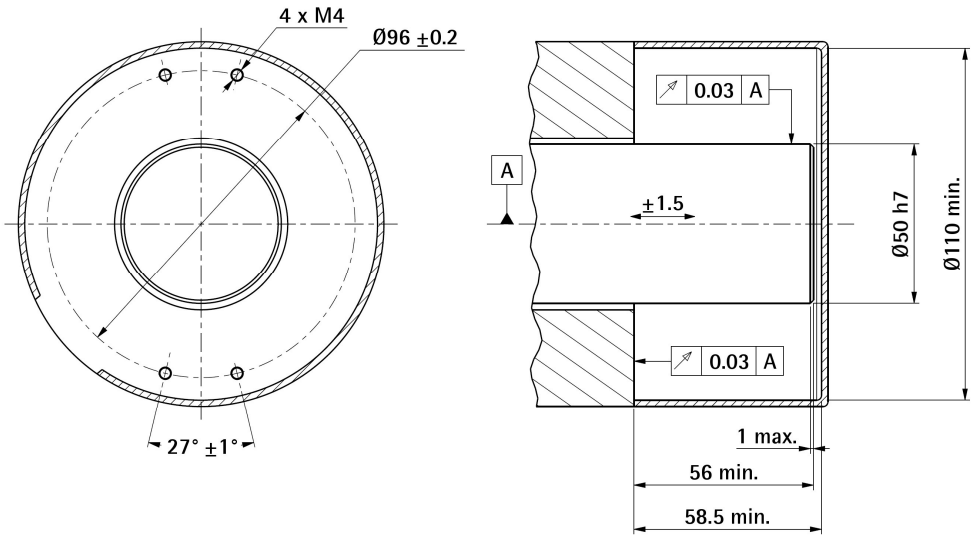
3.1 ASC85 外径サイズ

(値は mm表示)



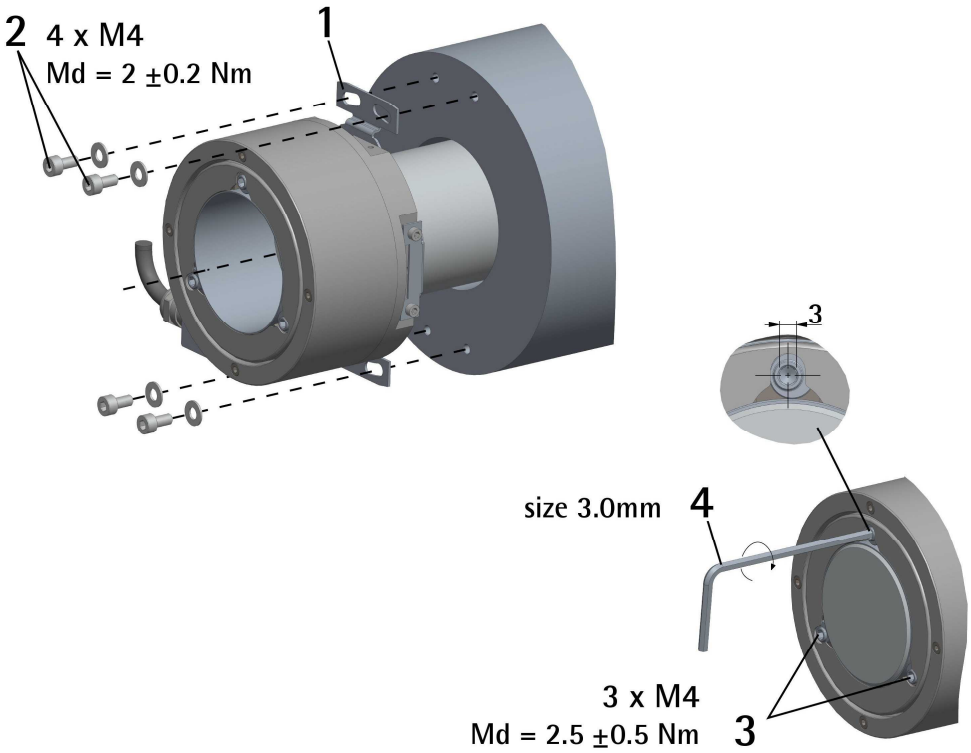
3.2 取り付けサポートの機械的特性

(値は mm表示)



3.3 エンコーダの取り付け

- モータシャフトにエンコーダを取り付けて下さい。エンコーダシャフトに力が掛からないように注意してください;
- 固定プレート **1** をモータの裏側にM4ネジと2番のワッシャーを使って取り付けて下さい; 最大締め付けトルク: 2 ±0.2 Nm;
- エンコーダシャフトを3個のM4偏心ネジ3を3.0㎜サイズの六角レンチ４にて固定してください。締め付けトルクは : 2.5 ±0.5 Nm



4 - 電気結線

警告
電気接続を行う前に、電源をオフにする必要があります。
未使用の信号線が接触すると、デバイスに修復不可能な損傷を与える可能性があります。 したがって、それらは異なる長さに切断され、単独で絶縁されなければなりません。

機能	M23 12-ピン	M12 12-ピン	TF12ケーブル
クロック IN + / MA +	2	3	紫色
クロック IN - / MA -	1	4	黄色
データ出力 + / SLO +	3	5	灰色
データ出力 - / SLO -	4	6	ピンク色
A (COS +)	5	9	緑色
/A (COS -)	6	10	茶色
B (SIN +)	7	11	赤色
/B (SIN -)	10	12	黒色
計数方向 [1]	8	8	青色
ゼロ設定 / プリセット [1]	9	7	白色
0Vdc	12	1	白色/緑色
+Vdc [2]	11	2	茶色/緑色
シールド	ケース	ケース	シールド

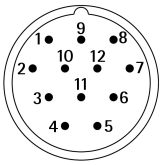
n.c. = 結線なし

1 SSI インターフェースでのみ使用可能（注文コード…/ BG ...および…/ GG ...を参照）

2 電源電圧レベルについては、注文コードを参照してください。

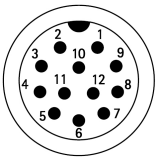
例
ASC85xx/SC**1**-… +Vdc = +5Vdc ± 5%
ASC85xx/SC**2**-… +Vdc = +10Vdc +30Vdc

4.1 M23 12-ピン コネクタ



M23 12-ピンコネクタ
反時計回り、オス 正面

4.2 M12 12-ピン　コネクタ



M12 12-ピンコネクタ
オス正面

4.3 TF12 ケーブル仕様

モデル	: LIKA TF12 encoder cable
断面	: 6 x 2 ツイストペア— (28 AWG)
ジャケット	: 特殊難燃性 PVC コンパウンド
シールド	: 錫メッキ銅編組, カバレッジ> 80%
外径	: 5.4 mm ±0.1 mm (0.21” ±0.004”)
最小曲げ半径	: min. 54 mm (2.12”)
動作温度範囲	: -15°C ～+80°C (+5°F～ +176°F)
導体抵抗	: < 242.02 Ω/km

4.4 GND 結線

シールドおよび/またはコネクタハウジングおよび/またはフレームをアースに接続することにより、ノイズを最小限に抑えます。 地面がノイズの影響を受けていないことを確認してください。 アースへの接続ポイントは、デバイス側とユーザー側の両方に配置できます。 干渉を最小限に抑えるための最善の解決策は、ユーザーが実行する必要があります。

4.5 1Vpp 正弦波出力信号

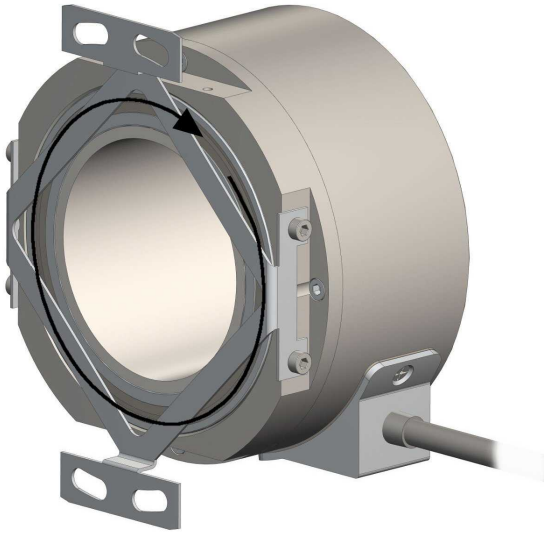
1Vpp 正弦波信号の詳細については、35 ページの「7-1Vpp 正弦波/余弦波出力信号」のセクションを参照してください。

4.6 計数方向入力

カウント方向入力は、SSI インターフェースでのみ使用できます（注文コード…/ BG ... および…/ GG ...を参照）。
カウント方向入力により、エンコーダ軸が時計回り（CW）または反時計回り（CCW）に回転したときにエンコーダが出力する位置値を大きくするかどうかを設定できます。時計回りの回転は、図に示すように意図されています。カウント方向入力が 0Vdc に接続されている場合、エンコーダシャフトが時計回りに回転すると位置値が増加します。 逆に、カウント方向入力が+ Vdc に接続されている場合、エンコーダシャフトが反時計回りに回転すると位置値が増加します。 使用しない場合は、カウント方向入力を 0Vdc に接続します（標準のカウント方向、図を参照）。

警告
カウント方向を変更した後、新しいゼロを設定する必要があります。

注記
カウント方向機能は、正弦/余弦信号ではなく、絶対位置情報に影響します。



4.7 ゼロ設定入力

ゼロ設定入力は、SSI インターフェースでのみ使用できます（注文コード…/ BG ...および…/ GG ...を参照）。
軸回転点の出力位置情報は 0 に設定できます。ゼロ設定入力により、オペレータは PLC などのコントローラから送信された入力信号を使用してゼロ設定機能を起動できます。 ゼロ設定機能を有効にするには、ゼロ設定入力を+ Vdc に少なくとも 100µs 接続してから、+ Vdc を切断します。 通常、電圧は 0Vdc でなければなりません。 カウント方向の後にゼロ設定を設定する必要があります。エンコーダ軸が動作していないときにゼロ設定機能を設定することをお勧めします。 使用しない場合は、ゼロ設定入力を 0Vdc に接続してください。

テクノロジーリンク株式会社
TECHNOLOGYLINK,LTD.
〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-18-35
OK ビル 2 階
Tel: 03-5924-6750　Fax:03-5924-6751
E-mail: sales@technology-l.com
URL: http://www.technology-link.jp